

豊かな明日を支える

# 創造的ハイブリッド・ケミストリー

2011年11月30日



社長 十倉 雅和

■	2011年度 業績概要	2
---	-------------	---

■	住友化学の現在の立ち位置	6
---	--------------	---

■	最近10年間の経営課題および事業戦略	8
---	--------------------	---

■	現在の経営課題および今後の事業戦略	13
---	-------------------	----

# 2011年度 業績概要

---

# 2011年度通期 業績予想

(単位:億円)

	2010年度	2011年度	前年比
売上高	19,824	20,200	+376
営業利益	880	750	△130
経常利益	841	720	△121
純利益	244	100	△144
ナフサ価格	47,500円/kl	55,500円/kl	
為替レート	85.74円/ドル	79.00円/ドル	

# 2011年度通期 部門別業績予想

(単位:億円)

		2010年度	2011年度 (予想)	増減
基礎化学	売上高	3,023	3,000	△23
	営業利益	206	170	△36
石油化学	売上高	6,499	7,100	+601
	営業利益	111	150	+39
情報電子化学	売上高	3,223	3,000	△223
	営業利益	261	130	△131
健康・農業関連	売上高	2,508	2,750	+242
	営業利益	233	290	+57
医薬品	売上高	4,106	3,850	△256
	営業利益	287	200	△87
その他	売上高	466	500	+34
	営業利益	△219	△190	+29
全社	売上高	19,824	20,200	+376
	営業利益	880	750	△130

# 2011年度上期 業績

(単位:億円)

	2010年度上期	2011年度上期	前年同期比
売上高	9,892	9,983	+90
営業利益	530	540	+10
持分法投資損益	75	10	△65
経常利益	521	490	△31
特別損益	△296	△284	+12
法人税等	△109	△139	△30
少数株主利益	△91	△94	△3
純利益	25	△27	△52
ナフサ価格 為替レート	46,200円/kl 88.91円/ドル	57,000円/kl 79.75円/ドル	
中間配当金	3円/株	6円/株	

# 住友化学の現在の立ち位置

---

# 住友化学の現在の立ち位置

これまでの10年間

現在

これからの10~20年間

抜本的な事業基盤の強化  
(3大課題の克服)

ラービグ  
計画

DSP発足  
セプラコール  
買収

情電部門  
新設・拡大

課題解決  
~創造的ハイブリッド・ケミストリーの推進~

環境  
エネルギー

ライフ  
サイエンス

ICT

早期収益化  
(収益性改善)

強固な  
財務体質の構築

(投資の厳選)

(資産効率向上)

グローバル化

グローバル経営の深化

2001年

2011年

2020~30年



# 最近10年間の経営課題および事業戦略



# 最近10年間の経営課題および事業戦略

これまでの10年間

現在

これからの10～20年間

抜本的な事業基盤の強化  
(3大課題の克服)

ラービグ  
計画

DSP発足  
セプラコール  
買収

情電部門  
新設・拡大

グローバル化

課題解決  
～創造的ハイブリッド・ケミストリーの推進～

環境  
エネルギー

ライフ  
サイエンス

ICT

早期収益化  
(収益性改善)

強固な  
財務体質の構築

(投資の厳選)

(資産効率向上)

グローバル経営の深化

2001年

2011年

2020～30年

# 最近10年間の経営課題および事業戦略

## 重点課題

石油化学事業の  
抜本的競争力強化

ライフサイエンス事業の  
クリティカルマス確保

将来の核となる  
新規事業の育成

## 大型事業戦略

ラービグPJの推進

大日本住友製薬の発足  
サノビオン社買収

情報電子化学部門  
の新設・事業拡大

## 投資額

約1,660億円  
(出資・融資)  
総事業費101億US\$

約2,190億円  
(株式買増、買収)

約3,550億円  
(設立以降10年間の  
設備投資累計)

## 具体成果

売上増  
(00年→10年)

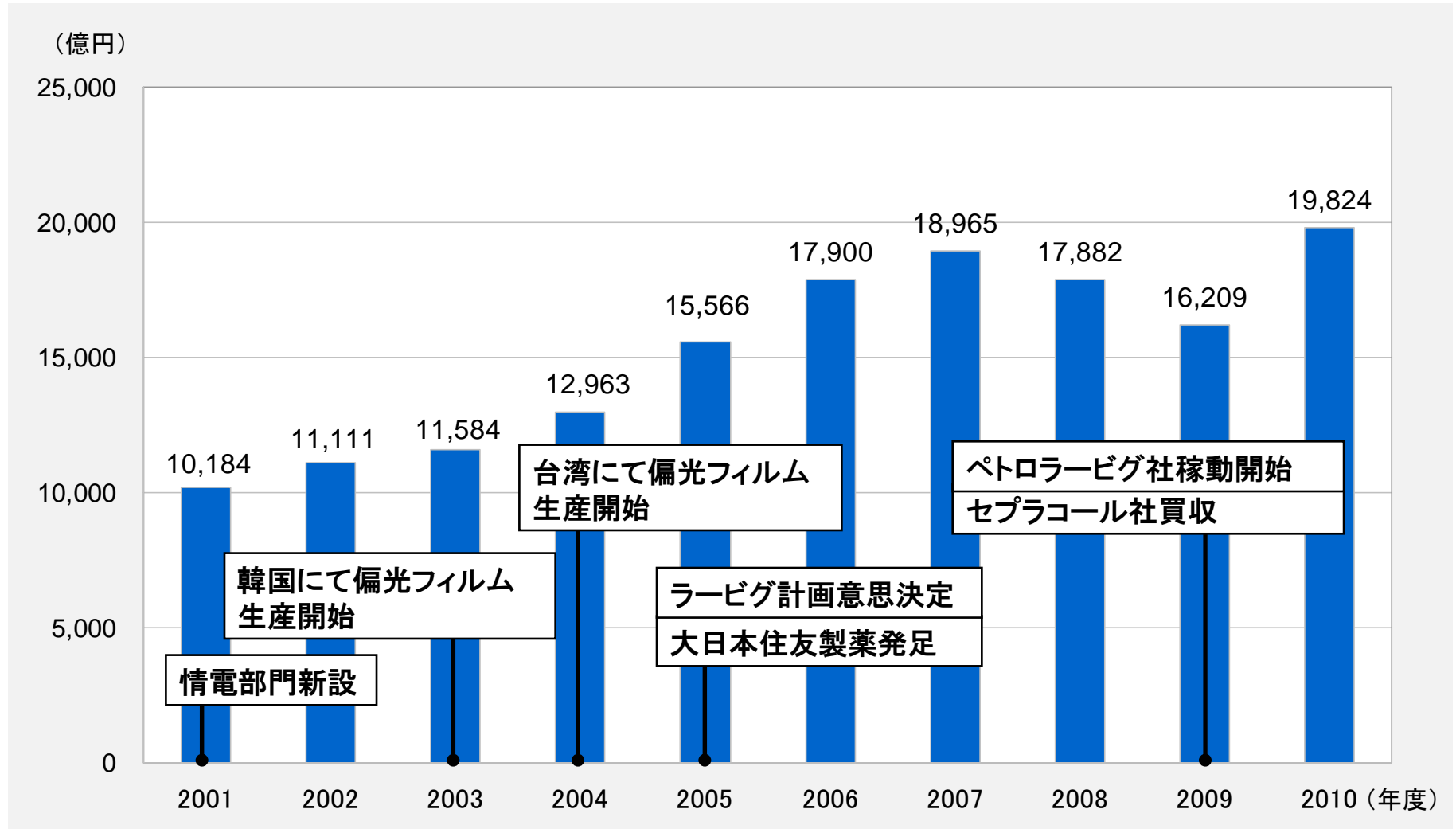
石油化学部門  
(3,755億円→6,499億円)

医薬品部門  
(1,567億円→3,659億円)

情報電子化学部門  
(602億円→3,223億円)

# 最近10年間の事業規模拡大

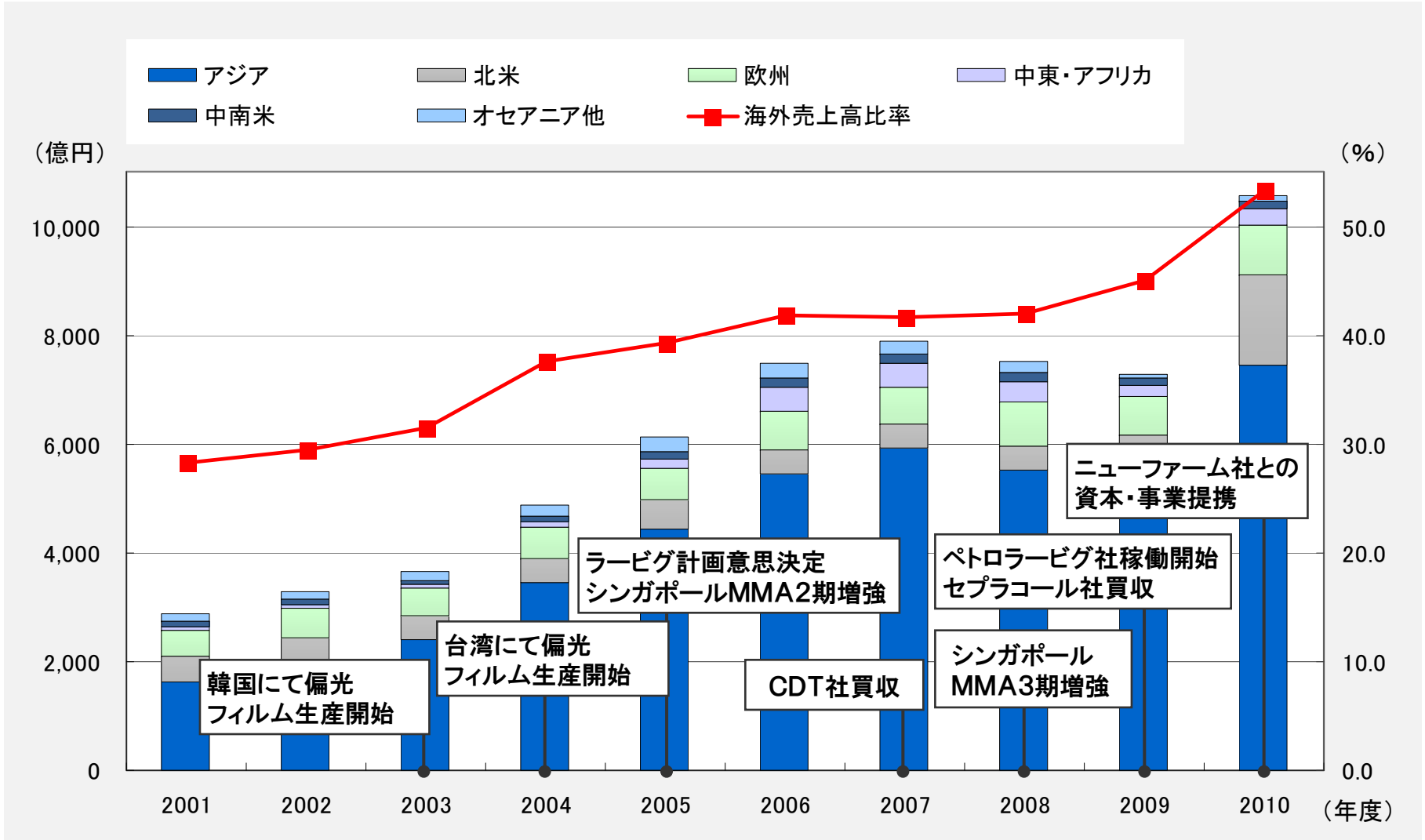
## ■ 連結売上高推移




# 最近10年間のグローバル化

## 海外売上高(地域別)推移

参考：海外生産高比率 2010年 40%



# 現在の経営課題および今後の事業戦略



# 現在の経営課題(強固な財務体質の構築)

これまでの10年間

現在

これからの10~20年間

課題解決  
~創造的ハイブリッド・ケミストリーの推進~

環境  
エネルギー

ライフ  
サイエンス

ICT

抜本的な事業基盤の強化  
(3大課題の克服)

ラービグ  
計画

DSP発足  
セプラコール  
買収

情電部門  
新設・拡大

早期収益化  
(収益性改善)

強固な  
財務体質の構築

(投資の厳選)

(資産効率向上)

グローバル化

グローバル経営の深化

2001年

2011年

2020~30年

# 強固な財務体質の構築(財務体質の強化)

## 収益性改善

大型事業戦略の  
早期収益化

## 投資の厳選

営業CFの  
一定枠内

## 資産効率向上

資産回転率の向上

## 財務体質の強化

(フリーCFの確保・有利子負債削減・D/Eレシオ改善)

攻めの経営・戦略の自由度確保



# 大型事業戦略の早期収益化(ラービグ計画)

## ■ フェーズ I 業績の動向

(百万米ドル)

		2010	2011 1Q	2011 2Q	2011 3Q
売上高	精製	10,416	3,381	1,744	3,290
	石化	2,074	633	290	470
営業利益		-30	189	-104	-72
純利益		56	186	-107	-75

持続的な利益確保へ

2012年  
通期フル操業

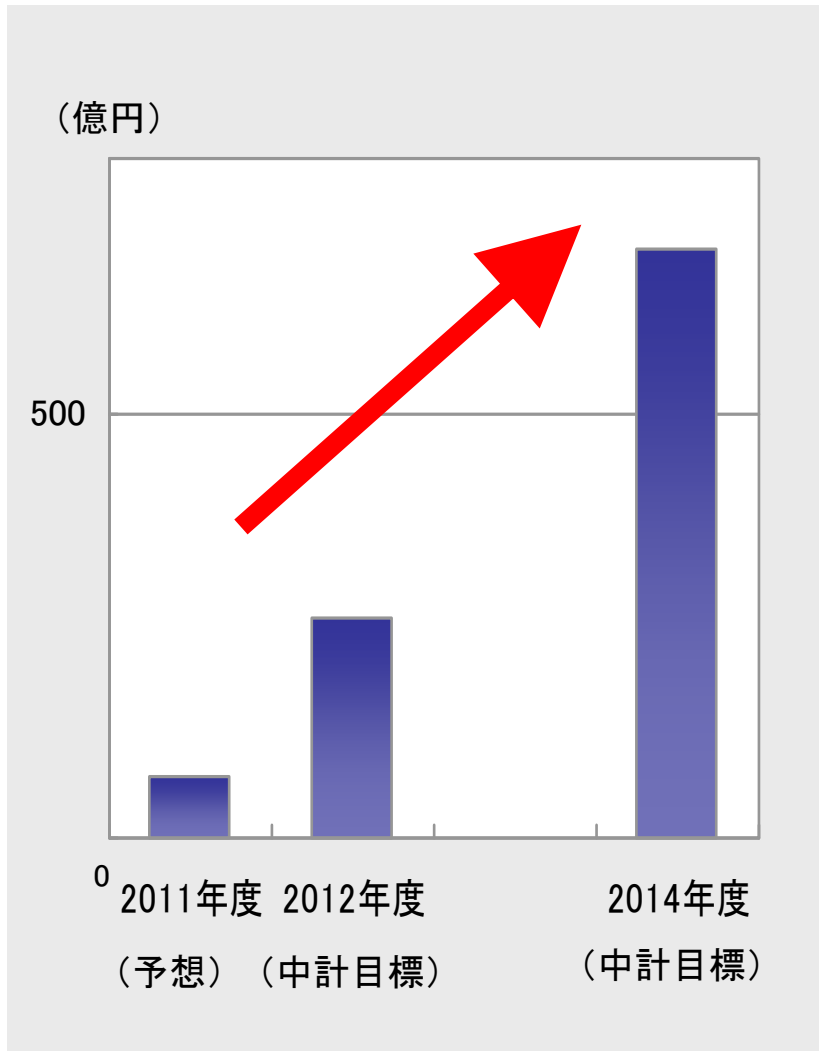
2011年9月  
以降黒字化

安定操業

2011年8月  
定修完了

# 大型事業戦略の早期収益化(医薬品:ラツータ)

## ■ ラツータ 米国売上予想



## ■ 今後の適用範囲と販売地域の拡大

### 統合失調症

- カナダ :2011年6月申請
- 日本 :新規第Ⅲ相試験準備中
- 中国 :2011年9月治験届け提出

### 統合失調症(上限用量追加)

- 米国 :2011年6月申請

### 双極性障害うつ

- 米国 :2012年適応追加申請予定

### 双極性メンテナンス

- 米国・欧州等 :2011年2Q第Ⅲ相試験開始

### 大うつ(混合症状)

- 米国 :2011年2Q第Ⅲ相試験開始

# 現在の経営課題(グローバル経営の深化)

これまでの10年間

抜本的な事業基盤の強化  
(3題課題の克服)

ラービグ  
計画

DSP発足  
セプラコール  
買収

情電部門  
新設・拡大

グローバル化

2001年

現在

課題解決  
～創造的ハイブリッド・ケミストリーの推進～

環境  
エネルギー

ライフ  
サイエンス

ICT

早期収益化  
(収益性改善)

強固な  
財務体質の構築

(投資の厳選)

(資産効率向上)

グローバル経営の深化

2011年

これからの10～20年間

2020～30年

# グローバル経営の深化(最適なグローバル化を加速)

## 基礎化学

(シンガポール)  
メタクリル樹脂増強  
(ポーランド)  
DPF工場建設

## 情報電子化学

(韓国)  
タッチパネルセンサー設備新設  
サファイア基板合併設立  
(中国)  
サプライチェーン構築

2010年  
40%

海外生産高

## 医薬

(米国)  
ラツータ販売  
(欧州)  
ラツータの武田薬品との提携

## 石油化学

(シンガポール)  
S-SBR新プラント建設  
(サウジアラビア)  
ラービグ・プロジェクト・フェーズⅡ検討

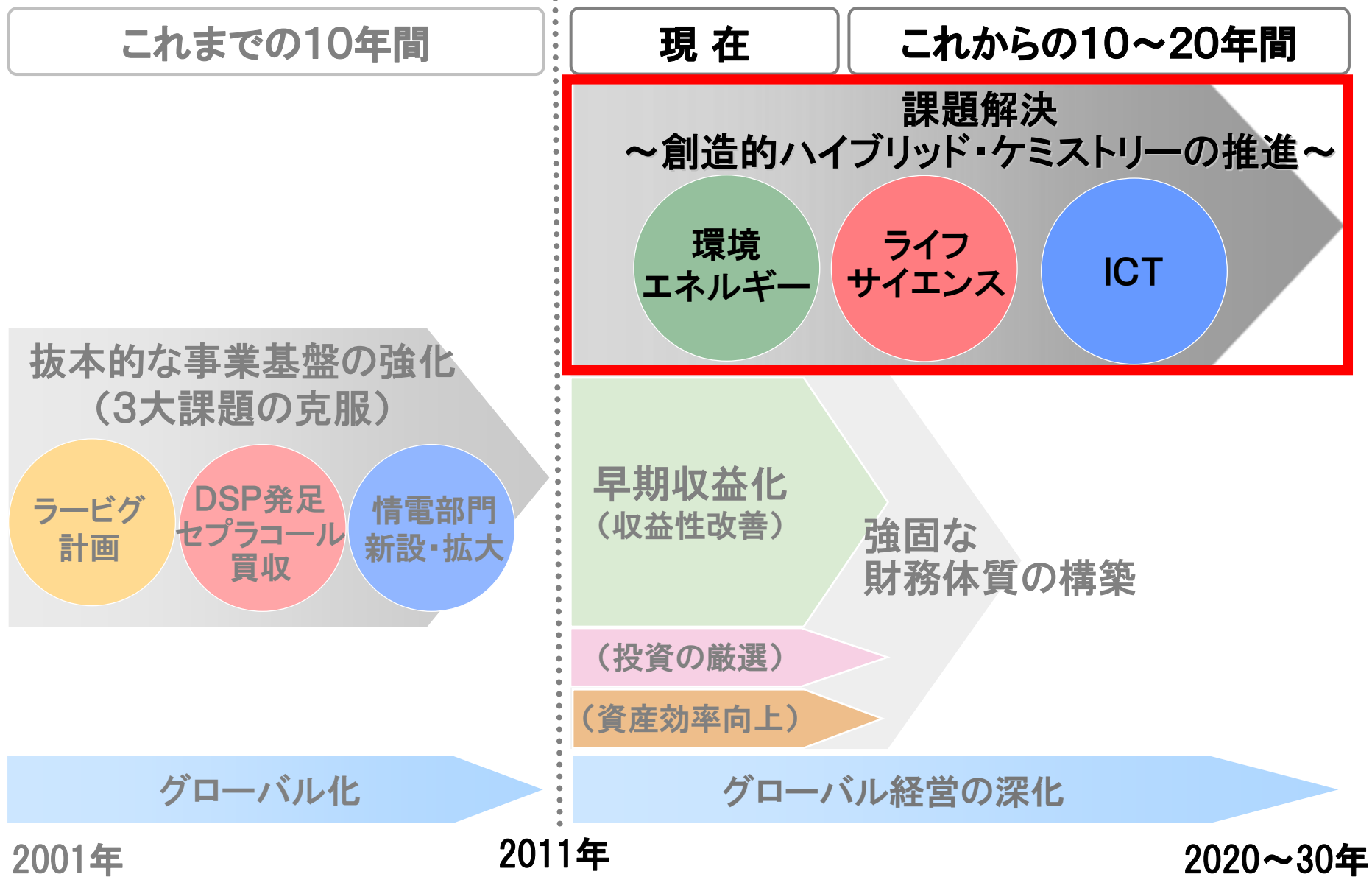
## 健康・農業化学

(豪州)  
ニューファームとの資本・業務提携  
(米国)  
モンサントとの業務提携

# グローバル経営の深化(海外比率)

	2010年度 通期	2011年度 上期
海外売上高比率	53%	54%
海外生産高比率	40%	41%
海外資産比率	35%	37%
海外人員比率	38%	39%

# 課題解決～創造的ハイブリッド・ケミストリーの推進～

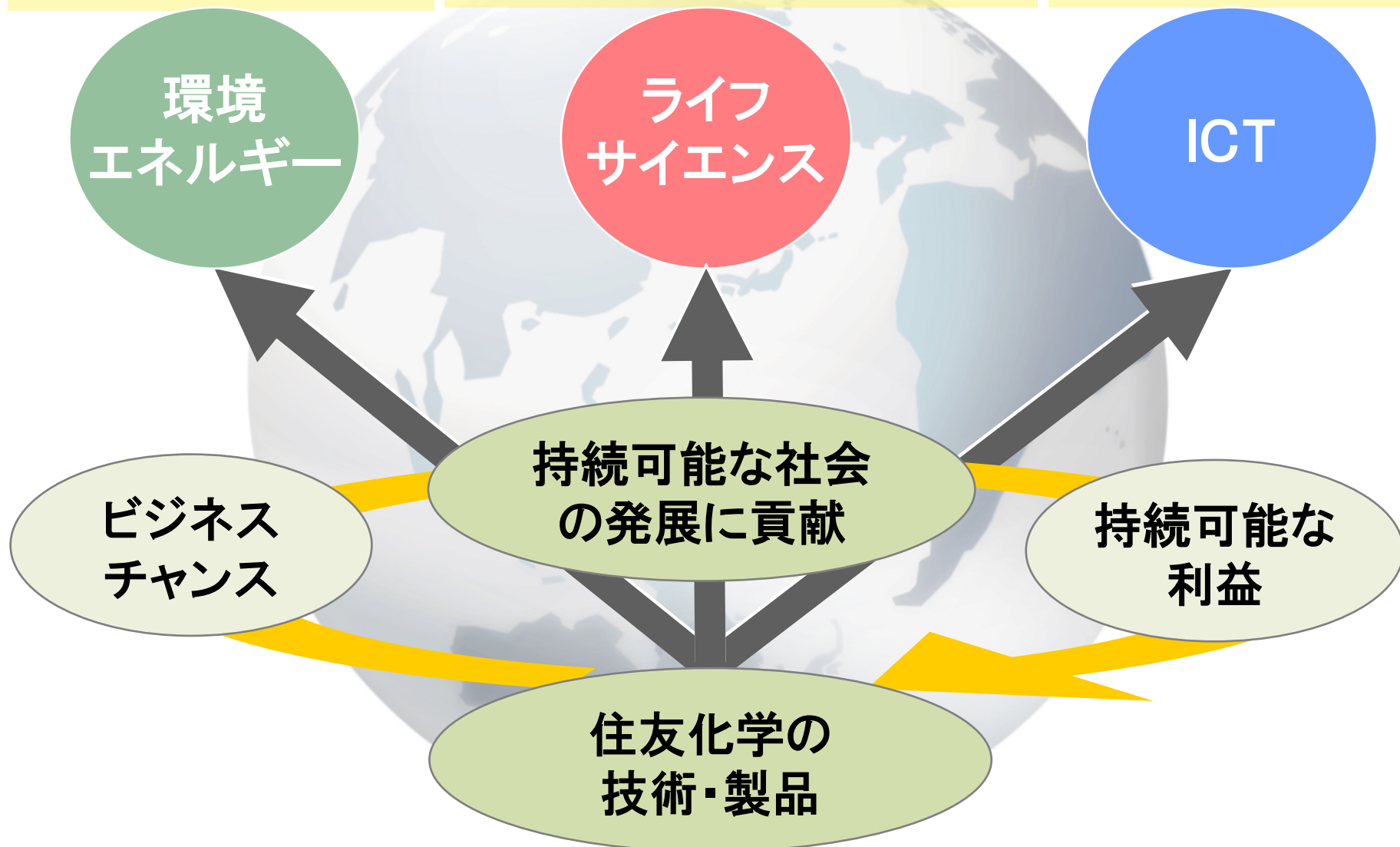


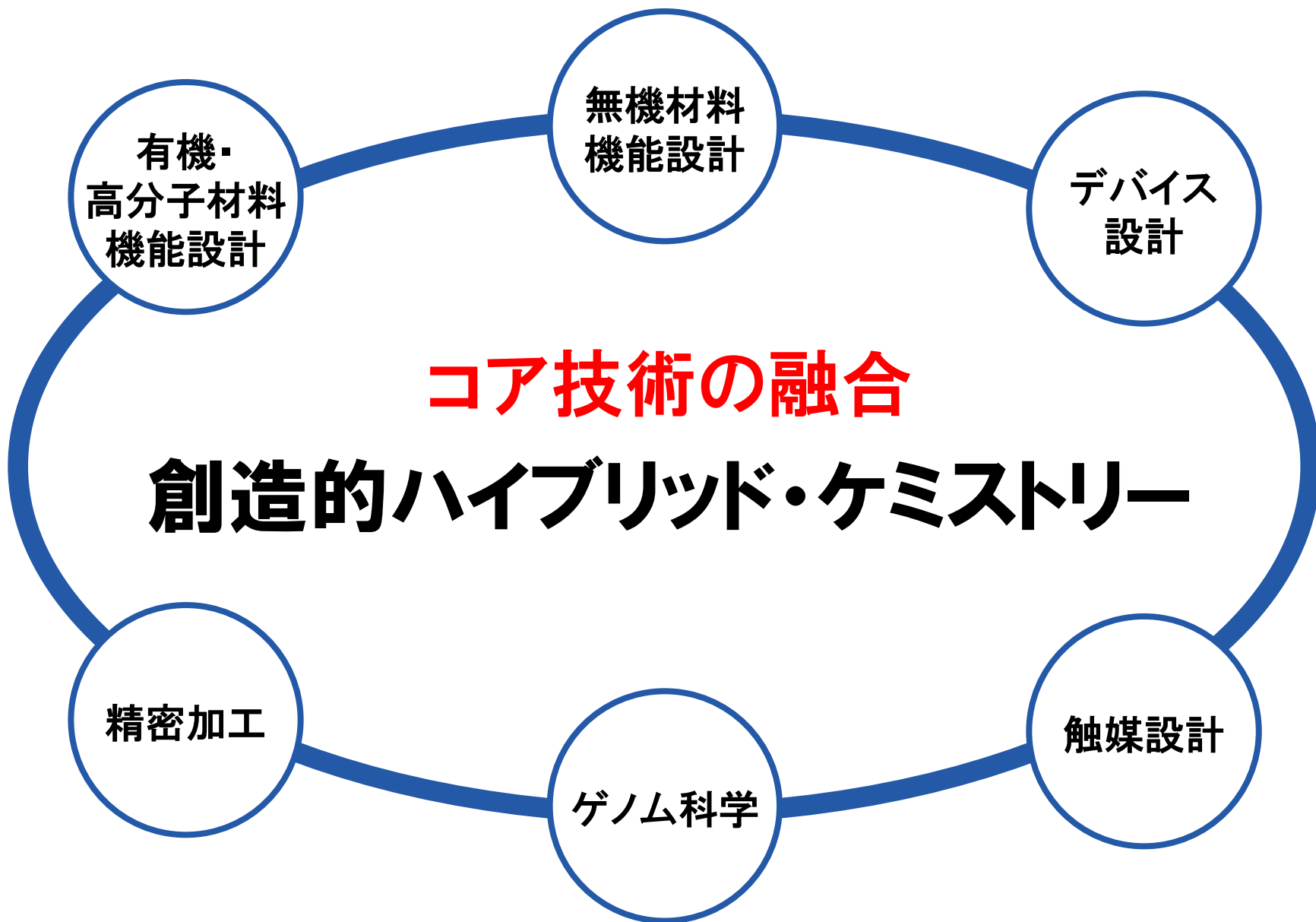
# 課題解決～創造的ハイブリッド・ケミストリーの推進～

地球規模の問題解決へ

食糧・健康・安全・安心のために

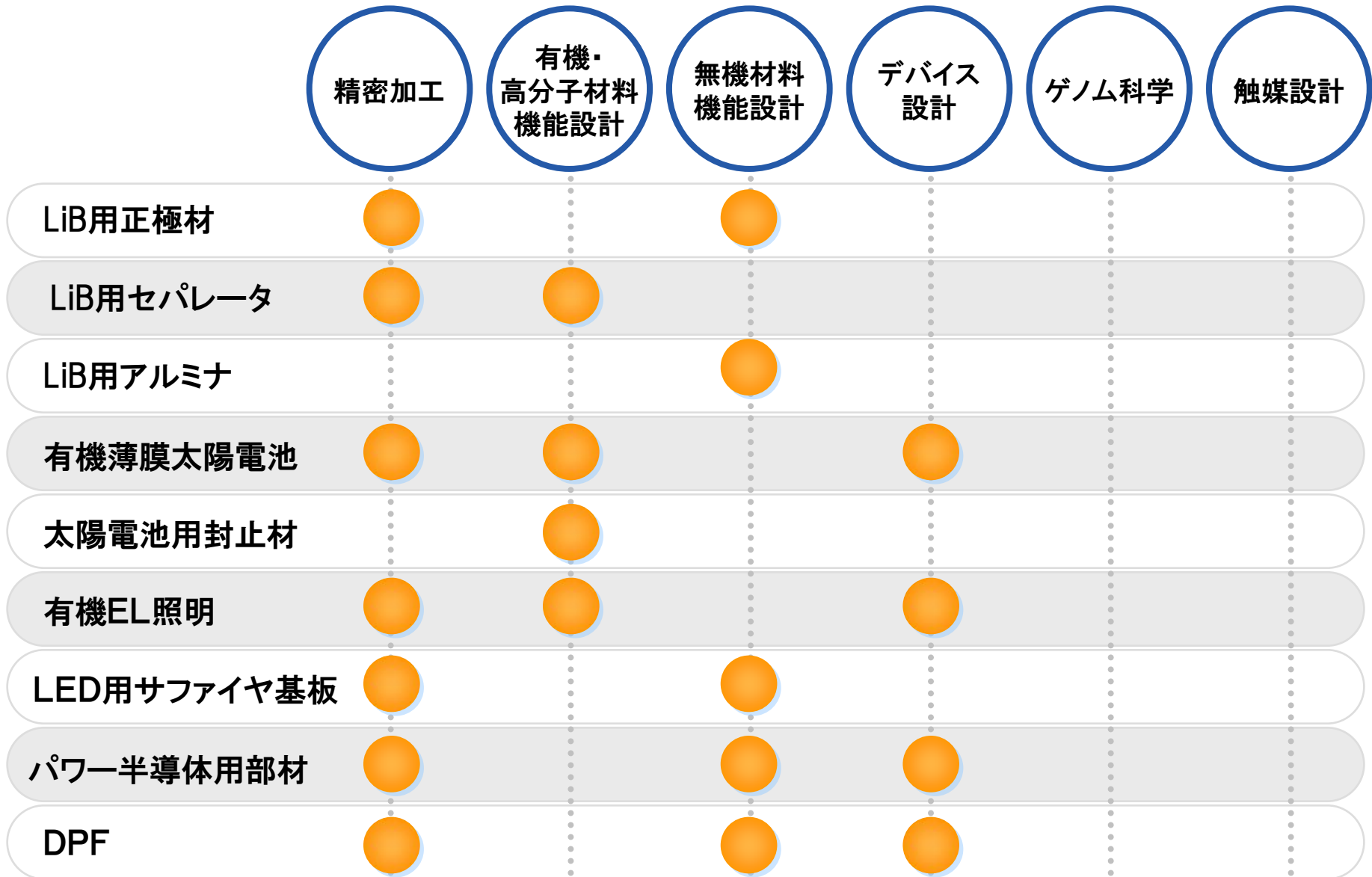
もっと豊かな生活を



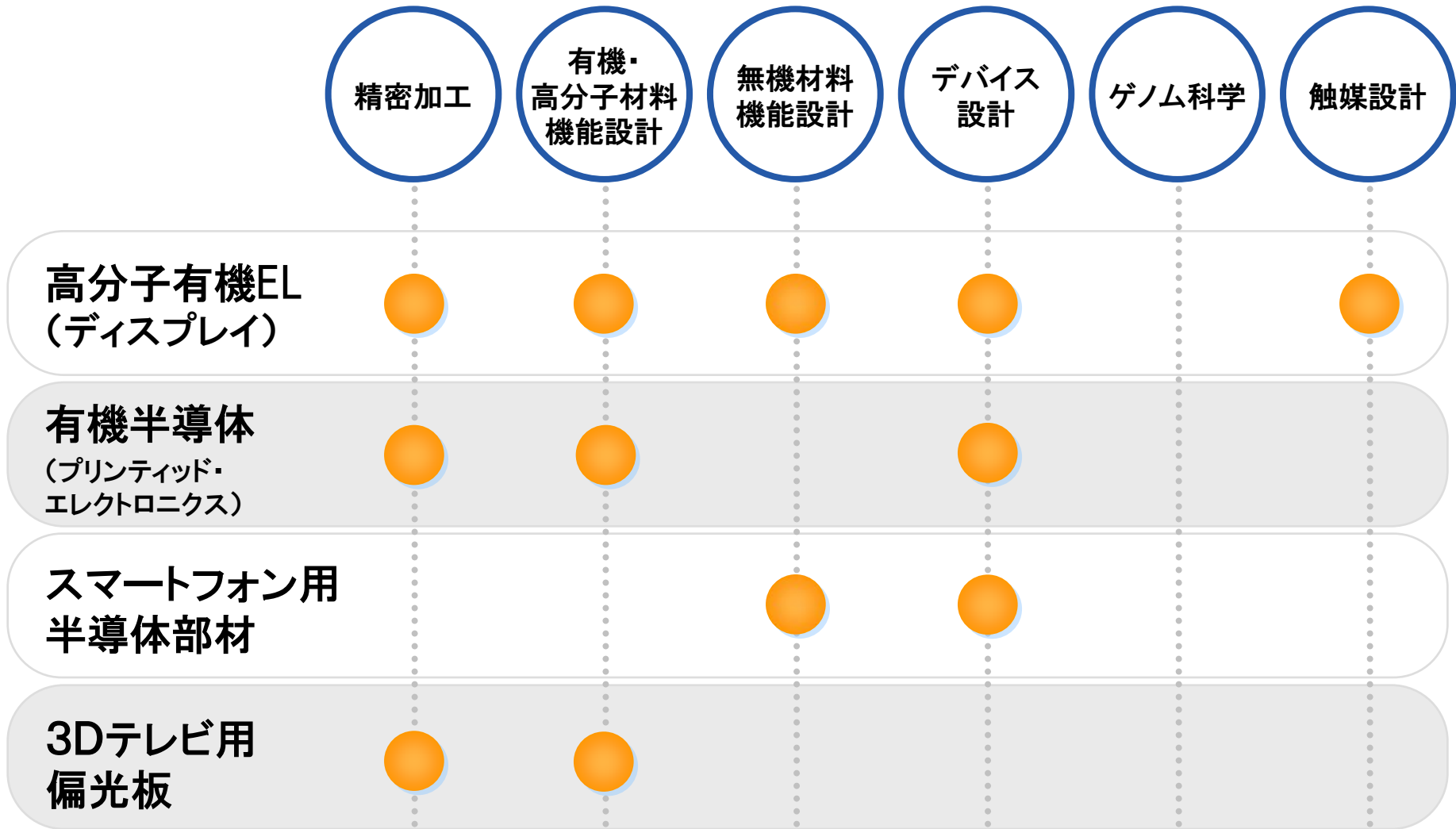




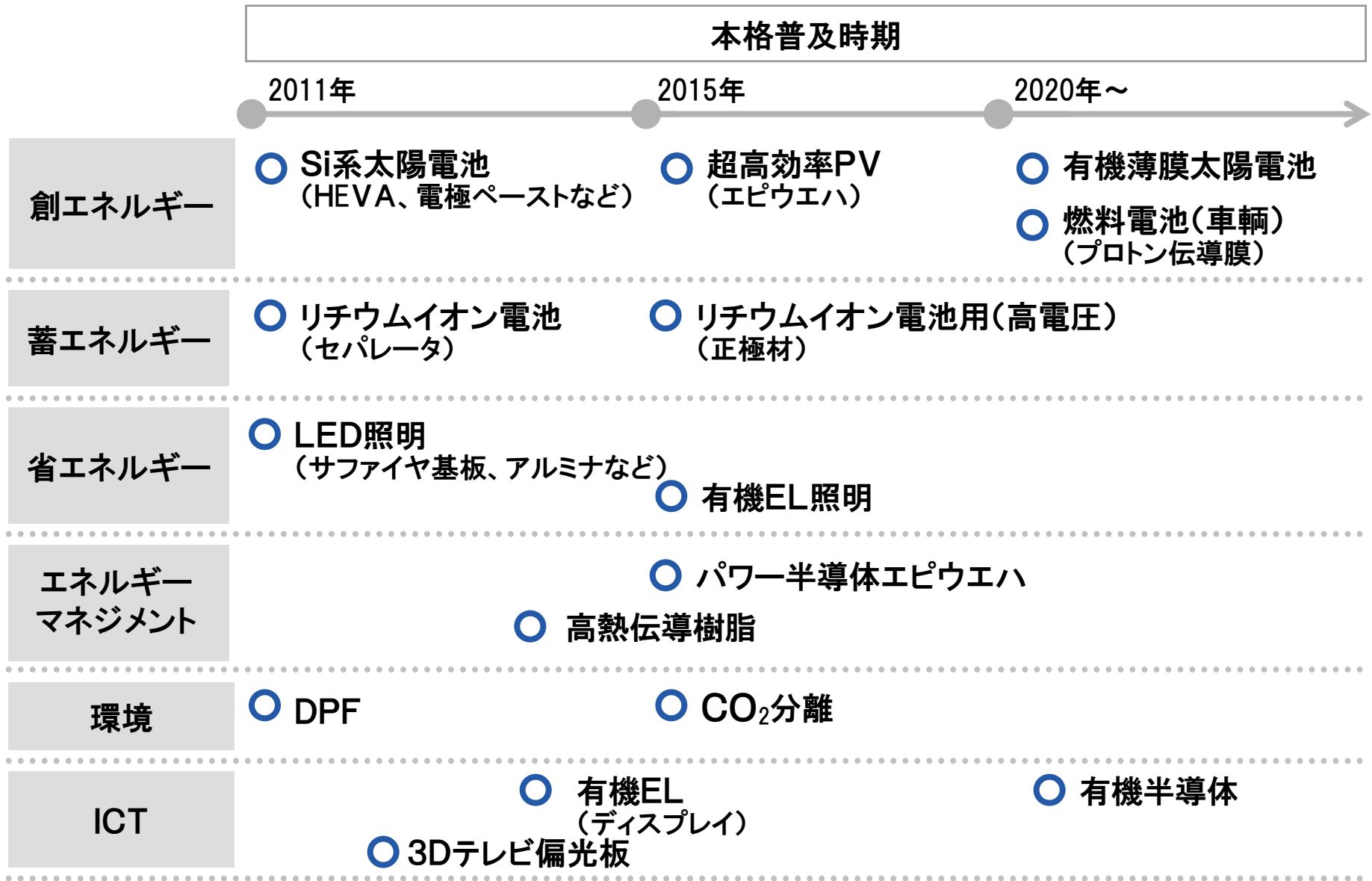
# 環境・エネルギー問題解決へ



# もっと豊かな生活を



# 環境・エネルギー・ICT分野(各事業の本格普及時期)

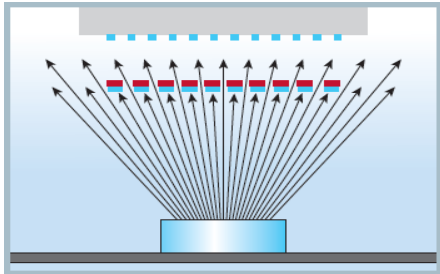
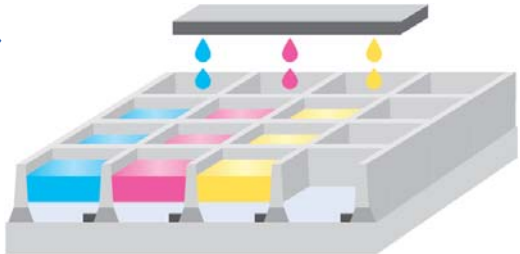
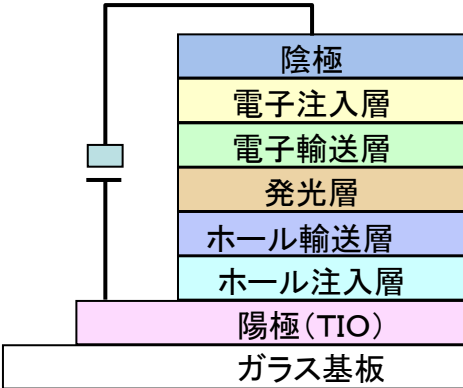
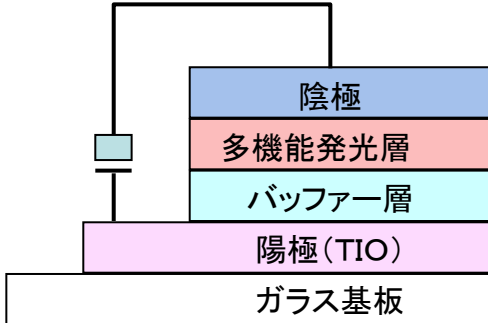


# 食糧・健康・安心・安全のために



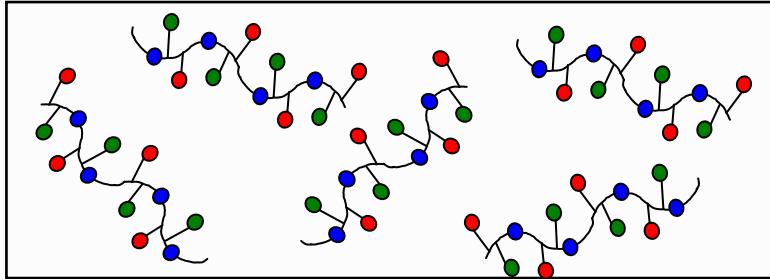
# 高分子有機EL（塗布系）

高分子塗布系は、装置とプロセスの両面で低コスト化が可能

	低分子有機EL	高分子有機EL
設備	<p>複数の蒸着室が必要な真空蒸着装置</p>	<p>各種印刷装置を用途に応じて採用 インクジェット、スリットダイコーター等</p>
プロセス	<p>ドライプロセス 真空蒸着、 転写</p> 	<p>ウェットプロセス 印刷</p> 
構造	<p>層数が多い</p> 	<p>層数が少ない</p> 

# 高分子有機EL照明

■ ポリマーにRGBの成分を組み込み→インク化（溶媒に溶解）→塗布



塗布



■ 低分子との構造、製造工程の比較

	低分子有機EL	高分子有機EL
製造工程	<p>照明用には複数回の蒸着プロセス</p> <p>HIL → HTL → R → G → B → ETL → EIL</p>	<p>照明用には最小限の塗布プロセス</p> <p>IL → W</p>
構造	<p>層数が多い</p> <p>カソード EIL(電子注入層) ETL(電子輸送層) EML(発光層)青色 EML(発光層)緑色 EML(発光層)赤色 HTL(正孔輸送層) HIL(正孔注入層) アノード(透明電極) ガラス基板</p>	<p>層数が少ない</p> <p>カソード EML(発光層)白色 IL(インターレイヤー) アノード(透明電極) ガラス基板</p>

■ 欧州最大の照明展「Light+Building 2012」に出展（2012年4月）

## プリンテッド・エレクトロニクスへの展開



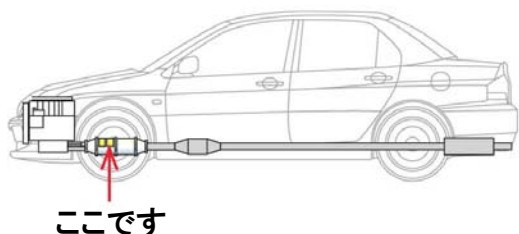
# DPF(すす除去フィルター)

## 住友化学が画期的なチタン酸アルミ製DPFを開発

### DPFとは

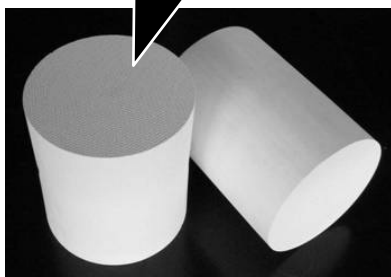
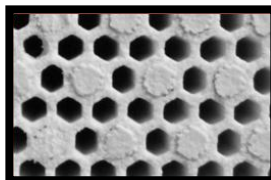
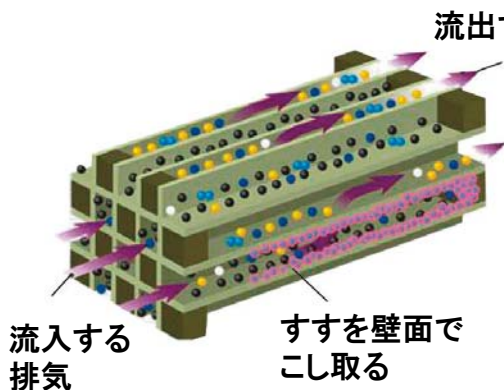
ディーゼルエンジン車に装着する「すす除去フィルター」のこと。

#### 装着される位置



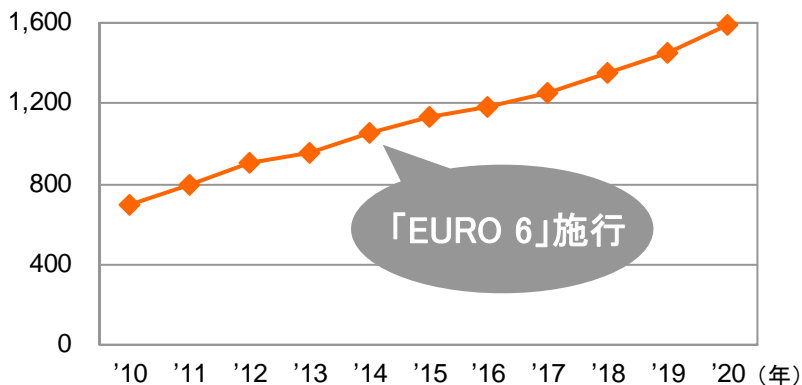
ディーゼルエンジン

#### すすを除去するメカニズム

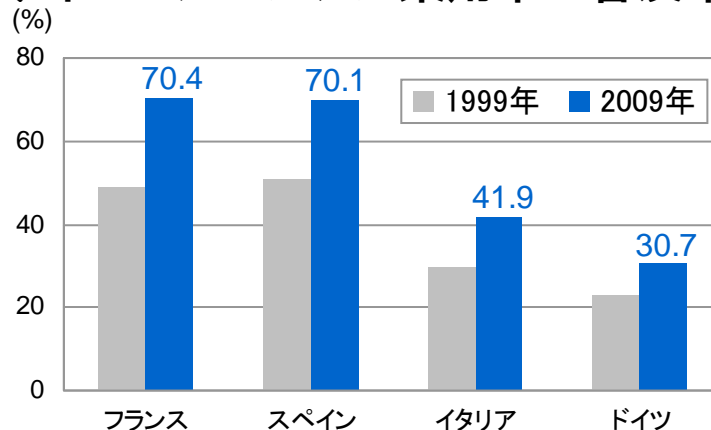


### DPFの世界市場予測

DPF個数(万個/年)



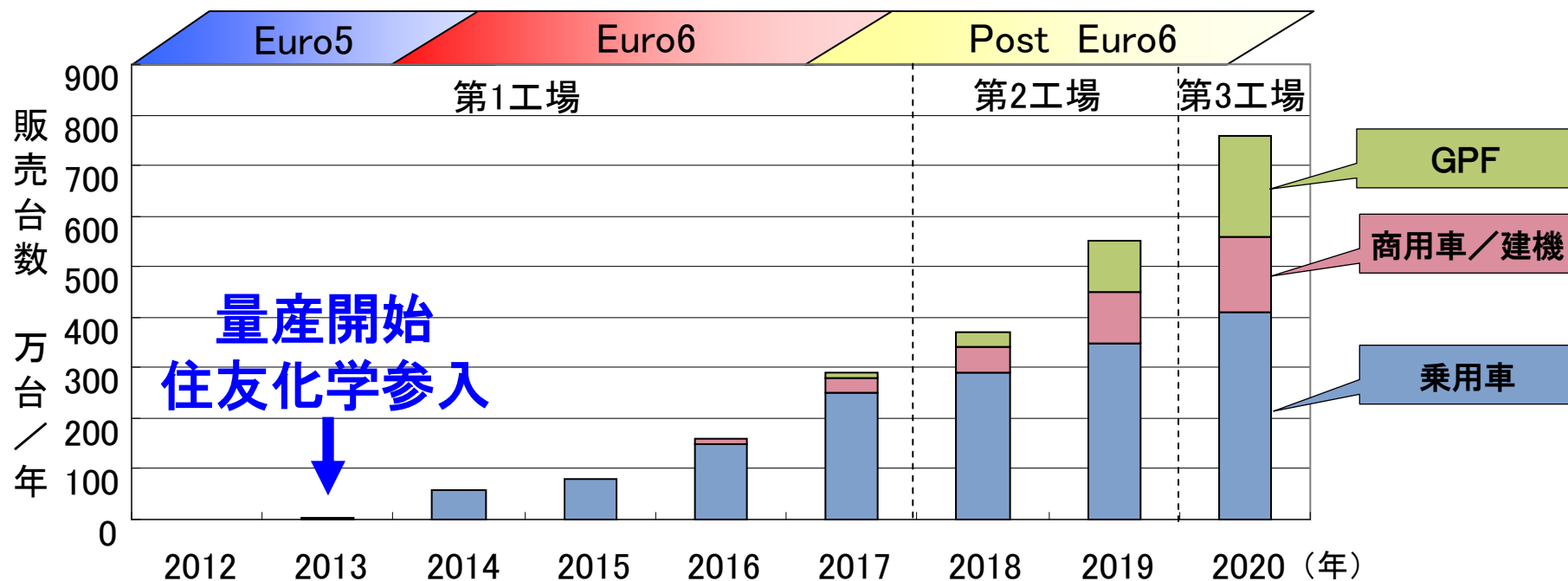
### 欧州におけるディーゼルエンジン乗用車の普及率





# DPF(すす除去フィルター)の事業戦略

- 着実な事業戦略で2013年に欧州市場へ参入
- 長期事業計画では、商用車やGPF(ガソリンエンジン用)のアジア、アメリカも含む市場へ参入



# ご清聴ありがとうございました

## CSR活動(被災地支援)の取り組み紹介



被災地応援  
マルシェ

## 被災地への 社員ボランティア派遣



### 注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。